

## 教育サポート報告

北越 正生

### 【教育の現場】

東米里小中学校 小学5年～中学2年の13名

(小5 5名、小6 1名、中2-7名)

平成15年5月1日 第4時間目(11:45～12:35)

授業：北越、サポート：五十嵐

### 【授業の内容】

「河川の役割を考えよう」

河川には いろいろな役割があります。古くより 河川から水を引いて農業用水としての利用や洪水から人命・財産を守ってきました。また 私たちが子供のころは川でよく遊んでおりましたが、何時の間にか「この川は危険です。近づかないでください」というような看板が多く立てられ、子供たちを川に近づけなくなりました。

最近 子供たちが遊ぶことのできる川づくりや水辺に近づける川づくりも進められるようになってきています。そして 生態系の保全など河川的环境にも配慮した川づくりも始められてきています。今日の授業では「河川の役割」について 生徒の皆さんたちと話し合いながら考えていきたいと思っています。

### 【授業の構成】

グループづくり

2～3人で1グループになるようにグループづくりを行う。

「川の役割」について これまで感じていたことの整理・・・10分

各グループで「河川の役割」を整理して書き出し、表を作成する。

講師と生徒で「河川の役割」について話し合い・・・25分

先に整理された意見を基に 治水、利水、環境など「河川の役割」について話し合う。

「河川の役割」の取りまとめ・・・10分

話し合いを基に各グループで治水、利水、環境、その他の役割に分けて整理して 再度 表を作成する。

全体の整理・・・5分

授業の全体について整理する。

## 【授業の風景】

授業開始時の様子、小学5年～中学2年生を5グループに分けている

「河川の役割」をグループで整理しているところ、アドバイスしているのが筆者

## 【感想】

今回の授業は 相談が持ち込まれてから実施まで1週間くらいと時間がな  
いなかでのサポートになったため、準備に十分な時間がとれず 地域の河  
川の状況など情報が不足していた。また 写真を利用しながら理解度を高  
めることなどの工夫が必要であることも感じられた。授業のなかで いか  
に子供たちに理解してもらおうかという工夫、そのための情報のストックが  
欠かせないような気がしている。

この学校は 小中学校が併設されている学校で各学年とも小人数であり、  
普段の授業でも協力し合うことができおり、素直な子供たちの前で授業  
をできたことが大きな喜びであった。